



ふれあいネットワーク

大蔵村 社協だより

※社協とは社会福祉協議会の略称です。

第 2 号

令和5年3月31日

発行

社会福祉法人
大蔵村社会福祉協議会

大蔵村大字清水2528番地(大蔵村役場内)

☎0233-75-2104(内線273)



福祉と文化の花開く ゆたかなる里 大蔵村をきずきます



会長あいさつ

社会福祉法人 大蔵村社会福祉協議会
会長 押切 建一

今後とも皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

今、私たちが取り巻く社会環境は多くの課題が山積してあります。少子高齢化が叫ばれてから久しく、新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアによるウクライナ侵襲、エネルギーや穀物の高騰による世界経済の混乱、温暖化の影響と思われる異常気象による甚大な災害など、私たちの日々の生活がいつ脅かされるか分からない状況にあります。

その様な時代だからこそ社会福祉の重要性を再認識しなければなりません。お互いに協力し合う「地域共生社会の実現」に向けて関係者のみならず、村民一体となつてその充実のための活動を進めていく必要があります。

福祉の原点は「人々の幸せを目指すものである」との言葉があります。すべての村民の皆様が安心して共に暮らせる福祉の村づくり実現のため、社会福祉協議会をはじめ、各種団体の皆様ならびに、村民の皆様が一体となり活動を進めていく必要があります。

今、私たちが取り巻く社会環境は多くの課題が山積してあります。少子高齢化が叫ばれてから久しく、新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアによるウクライナ侵襲、エネルギーや穀物の高騰による世界経済の混乱、温暖化の影響と思われる異常気象による甚大な災害など、私たちの日々の生活がいつ脅かされるか分からない状況にあります。

その様な時代だからこそ社会福祉の重要性を再認識しなければなりません。お互いに協力し合う「地域共生社会の実現」に向けて関係者のみならず、村民一体となつてその充実のための活動を進めていく必要があります。

福祉の原点は「人々の幸せを目指すものである」との言葉があります。すべての村民の皆様が安心して共に暮らせる福祉の村づくり実現のため、社会福祉協議会をはじめ、各種団体の皆様ならびに、村民の皆様が一体となり活動を進めていく必要があります。

ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。



日頃より、大蔵村社会福祉協議会の運営並びに福祉事業の推進に對しまして、ご理解と



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。



スノーダンプやスコップを使って
自力での除雪が困難な世帯への支援

除雪ボランティア

令和5年2月5日と8日、自力での除雪が困難な一人暮らし高齢者世帯や要支援世帯の6世帯へ除雪ボランティアを行いました。

参加したのは、高校生ボランティアサークル「ぎやらく」と「大蔵村の魅力発信団体「大蔵B.A.S.E.」、村民が多く在籍する野球チーム「B・K」、企業ボランティアとして社会福祉法人大蔵福祉会、株式会社



冬は自宅の除雪が大変な季節ですが、参加したボランティアの方にとっても、心温まる一日になったのではないのでしょうか。ご協力いただきありがとうございました。

令和5年2月15日、村中央公民館で第3回冬季！ピンピックが開催されました。村内10地区のふれあいサロンから14チーム、総勢93人が出場しました。

競技はリハビリの専門職が考案した村オリジナルの3種目です。各チームは競技前に作戦を確認し合い、高得点目指して競技に挑みました。3年ぶりに一堂に会しての本大会も、大盛況のうちに終了することができました。

ふれあいサロンは地域の支え合い活動です。サロンに集い笑い合いながら、元気に毎日を過ごしましょう。

介護予防大会 ピンピック



令和4年度 実施事業のご報告

令和4年度に実施した村社会福祉協議会の事業と各種福祉団体で実施した事業をご報告します

輪と話と和をテーマに全12地区の老人クラブとふれあいサロンで実施

第6回大蔵村公式ワナゲ交流大会



令和4年10月17日から11月4日までの期間、第6回大蔵村公式ワナゲ交流大会を開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地区の公民館などでの開催となりました。老人クラブとふれあいサロンから12団体が参加しました。1人3ゲームずつを行い、その総得点を個人戦で競い合いました。

この大会のために、各団体が熱心な練習を重ねてきました。「いつものように輪が入らない」と緊張の声も聞かれました。高得点のかかったゲームでは、真剣な表情で輪を投じていました。すべての的に輪が入る「パーフェクト」を3名の方が達成。このパーフェクト達成は今大会が初めてで、たくさん拍手が沸いた大会となりました。

大蔵村老人クラブ連合会は「りんどうクラブ大蔵」の愛称で活動しています。

令和4年7月14日から15日までの1泊2日で行んだワナゲ交流大会「ふれ愛の旅」を開催しました。各クラブから34人が参加し、みやぎの明治村や東日本大震災津波伝承館などの見学を行いました。会長の中島良久さんは「あれだけの資料が残っている場所はなかなかない。とても貴重な場所だ」と思う」と明治村の教育資料館を見学した感想を話してくれました。

りんどうクラブでは仲間づくりを通じて生きがいと健康づくりなど行っています。みなさんも一緒に活動しましょう。

りんどうクラブ大蔵 ふれ愛の旅



共同募金へのご協力ありがとうございました！

事業報告 障がい者スポーツと車いす体験

令和4年8月8日、カローリングと車いす体験を実施しました。村放課後児童クラブに通っている子どもたちと大蔵村身体障害者福祉協会(会長中島幸生)の会員と一緒に活動を行いました。カローリングは子どもから高齢者まで、年齢や性別、体力、障がいの有無に関係なく気軽にできるスポーツで、みんなが一緒になって楽しみました。



▲ Oh蔵SPORTの協力のもとカローリングを体験しました

赤い羽根共同募金運動の実績

募金合計	584,133円
募金の内訳	
戸別募金	568,700円
イベント募金	5,644円
役場庁舎内募金	9,789円

お寄せいただいた募金は、山形県共同募金会へ送金し、募金額の約50%が令和5年度の福祉事業費として大蔵村社会福祉協議会へ還元される予定です。

歳末たすけあい募金運動の実績

募金合計	396,200円
(戸別募金)	
募金の配分先	
在宅重度障がい者	88,000円
要支援高齢者	171,000円
要支援世帯・要保護世帯	120,000円
最上管内福祉施設	17,000円
事務費	200円



「赤い羽根共同募金運動」は高齢者や障がい者、児童への地域福祉活動の支援に活用されます。災害時には被災者支援に役立てられます。「歳末たすけあい運動」は共同募金運動の一環として行われています。新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が安心して暮らしていけるように、見舞金の贈呈が行われています。

◀おくら大産業市での募金活動

赤い羽根共同募金

つながりをたやさない社会づくり
— あなたは一人じゃない —

NEW

福祉サービス利用援助事業 が始まります！

必要な福祉サービスを適切に受けるための情報提供や助言、利用手続きなどの援助を行い、地域で安心して暮らすことを支援する事業です。



▶対象となる方

- ①認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方
- ②日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方
- ③本事業の契約内容について判断し得る能力を有していると認められる方

▶内 容

- ①福祉サービスの援助、利用手続きのお手伝い
- ②日常的な金銭管理サービス(預貯金の出し入れ等)
- ③書類等の出し入れ等(年金証書・預金通帳・印鑑などを安全な場所で保管)

▶利 用 料 1回(1時間程度)1,500円

▶利用のしかた

ご本人やご家族から、村社協にご相談ください。(地域包括支援センターなどの福祉関係者を通しての相談も可能です)相談内容に合わせて支援計画を作ります。ご本人と村社協との間で利用契約を結び、支援が始まります。

ひとり暮らし高齢者等の 見守り事業

村内のひとり暮らし高齢者の皆さんが、安心してお変わりなく過ごしていただけるよう、村社協が山形ヤクルト販売株式会社へ委託し、安否確認を第一に「訪問・声がけ」を行っています。



▶対象となる方

村内在住のおおむね75歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみ世帯で、ほとんど自宅で過ごしている方

▶期 間 4月中旬～12月中旬、3月

▶配 達 日 週2回程度

(曜日は地区によって異なります)

▶配 達 物 ヤクルト400LT 1本(80ml)

▶申請方法 地区民生委員を通しての申請

※費用負担はありません。

※安否確認が目的ですので、不在状況が長く続くなど、生活状態や環境等の変化により声掛けが不要になった場合は、配達を取り止めますのでご了承ください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 大蔵村社会福祉協議会

大蔵村大字清水2528番地(大蔵村役場内)

☎0233-75-2104(内線273)

地区での活動などに備えに ボランティア活動保険

地区・自治会で行う美化活動や保全活動、道路清掃、ふれあいサロンの活動など、ボランティア活動中に「自分がケガをしたとき」「他人にケガをさせてしまったとき」「他人の物を壊してしまったとき」等の場合に備えて全国社会福祉協議会のボランティア保険があります。



▶補償期間 申込日～令和6年3月31日まで

▶保 険 料 基本プラン 一人 350円
天災・地震補償プラン 一人 500円
特定感染症重点プラン 一人 550円

※補償内容等の詳しいご案内は、村社協にお問い合わせください。

福祉団体のご紹介

大蔵村社会福祉協議会では、高齢者福祉支援活動、身体・知的障がい者福祉支援活動、戦没者遺家族援護福祉支援活動として4つの福祉団体の事務局を担っています。

りんどうクラブ大蔵(大蔵村老人クラブ連合会)

村内12クラブで活動しています。健康づくり教室や地区の花植えなど、それぞれのクラブが年間を通じて活動しています。



大蔵村遺族会

戦後77年が経過しました。遺族会では全国戦没者追悼式に参列するなど、戦没者の顕彰と慰霊に関する活動をしています。

大蔵村身体障害者福祉協会

身体障がい者の自立と社会参加の促進に取り組み、誰もが参加しやすい事業を展開しています。令和4年度は放課後児童クラブの子どもたちと活動を行いました。



大蔵村手をつなぐ育成会

知的障がい者の社会参加と権利擁護、福祉の向上に寄与することを目的に結成されました。障がい者やその家族、支援者の心のネットワークです。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。